

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (近畿)	◎	通信会社（社員）	・当面、半年以上は変わらないとの予測であるが、年末年始に掛けての伸び代はあると感じる。
	○	百貨店（マネージャー）	・暖冬や外出の自粛といった悪い材料の影響が懸念されるものの、2021年を新たな気持ちでスタートしたいという前向きな雰囲気もあり、年末年始のリベンジ消費が期待される。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン開発が進み、実用化が期待されるほか、米国の政治情勢の安定も予想されるため、株価が高値で安定する。それに伴い、富裕層の購買意欲が高まることが予想される。
	○	スーパー（店長）	・現状は更に新型コロナウイルスの感染者が増える傾向にあり、年末年始を自宅で過ごす人が増えると考えられるため、関連の需要が増える。
	○	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で在宅勤務が再び増えれば、ふだんは来ない客が来店するようになり、売上が増える予想される。
	○	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来し、やや横ばいの状態が続いている。今の状態のまま横ばいが続き、その後収束に向かえば、売上や景気は上向く。
	○	家電量販店（人事担当）	・自宅で過ごす時間が長くなることで、家のなかでの生活を充実させるための商品が動く予想される。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新車の販売台数は減少しているが、中古車販売が少しずつ増えているほか、中古車の価格が上昇してきている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・受注ベースで先に売れているため、2～3か月後は今よりも販売台数が増える見込みである。
	○	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・新カタログが発刊されるほか、新型コロナウイルスやインフルエンザが流行する時期になるため、マスクなどの受注に期待している。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・自粛ムードのなかでも、クリスマスディナーは例年どおり開催できることを期待している。
	○	観光型旅館（経営者）	・12～1月は好調であるが、2月以降の予約が前年比で90%減となっている。
	○	都市型ホテル（フロント）	・Go To Travelキャンペーンが継続される場合は、利用が増えると予想される。その一方で終了することになれば、料金が客の予算に見合わない場合、稼働率は下がることになる。そうなれば価格を下げての販売となるため、収入増加は余り見込めない。
	□	商店街（代表者）	・6月以降は余り大きく変わっておらず、年末も期待できない。
	□	一般小売店 [花]（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で、発注が停滞している。取引先の店舗で買い控えがみられる状況では、景気回復の見込みは薄い。
□	一般小売店 [珈琲]（経営者）	・ワクチンなどの接種がスタートしない限り、今の状況が続くと感じている。	
□	一般小売店 [野菜]（店長）	・Go Toキャンペーンも、ここへきて戻す歩みになりつつあるのが現状で、個人店舗にはかなりの痛手となっている。今後3か月ほどで立て直すのは非常に厳しく、来年になってワクチンがどの程度利用できるのかは分からないが、もう少し政府主導できちんと対応しなければ、日本経済の未来はない。	
□	一般小売店 [呉服]（店員）	・奈良県の新型コロナウイルスの感染者数が増えつつあり、今後重症者が増えれば、更に悪くなる。	
□	百貨店（売場主任）	・米国大統領選挙をめぐる動きも一段落し、新型コロナウイルスに対するワクチン開発で株価も大きく上がるなど、景気の回復が期待される。ただし、日本の企業の大半は業績が悪化しており、一部の富裕層を除けば、消費者の所得は減少し、雇用状況も悪化している。このような状況では、景気回復には時間が掛かると予想される。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（服飾品担当）	・年間で売上が最大となるクリスマス商戦に関して、飲食店等への時短営業の要請などによる影響で、厳しい状況になることが予想される。ワクチンなどの明るいニュースはあるものの、人の動きが制限されるなかで、ギフト需要は大きく冷え込む。年末年始も同様の状況が考えられることから、現状に近い推移が予想される。新型コロナウイルスの感染が長期化するなかで、Webや問合せ販売などの新たな販売方式は好調に推移しているため、今後も拡大するとともに、オンラインとオフラインを併用した対応が重要となる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（サービス担当）	・今月末から新型コロナウイルスの感染第3波により、外出などの自粛で来客数が減少する見込みであるが、インターネット通販の売上が好調に伸びているため、売上は2～3か月前と同じような推移となる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大がどのように進むのかが不透明である。ここで生産活動が止まるようなことがあれば、今以上に景気が悪化する可能性はある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスに慣れてきたことで、売上は低位ながらも安定すると予想されたが、感染第3波の拡大に伴い、売上、来客数共に減少してきている。積極的な販促策、来店施策を打つことも難しくなっており、当面は宣伝費などの経費を削減し、しのいでいかなければならない状況である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染に関して、検査数が増えているとはいえ、陽性者数が多数出ているなか、誇張した表現での報道は経済をより停滞させる原因になっている。感染の拡大当初から、状況は変化していないように感じる。やはり、ワクチンの接種が始まるまでは、今の状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・全体的に改善傾向であった来客数が、前月の後半から再び減少気味である。Go Toキャンペーンで国内需要を喚起し、外国との交流再開でインバウンド需要を回復させようとした矢先に、前回は上回る感染再拡大となった。景気回復策も見直しを迫られており、当面は厳しい状況が続くようである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（特選品担当）	・当面、経済と感染対策のバランスを取る状況が続くようである。また、消費者もこの状況に慣れてきたというよりも、この状況が普通になってきているため、当面は変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・Go Toキャンペーン事業の見直しなどで、外食の機会が大幅に減り、テレワークも再び拡大することが予想される。結果として、家庭での食事回数が増え、少し低迷し掛かっていた購買が増えようである。ただし、同業種、異業種を含めて競争が激化しているため、利益面では厳しくなると予想している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・来月も新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと予想されるため、現在の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者の増加が続いており、感染第1波、第2波の状況を超えてきている。Go To Eatキャンペーンにより、外食の需要回復が進んでいたが、再び内食に回帰する可能性が高く、業種による好不調の差が再び鮮明になる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が今よりも落ち着いたとしても、企業のテレワークの動きは今後も続きそうであり、来客数は今後も低水準で推移することが懸念される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染収束の兆しもみられず、しばらくは今の状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・工事が終わるまでは、今と同じような来客数が続く。新型コロナウイルスの影響は余り出ていない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（営業・販売担当）	・スーツを着ない人が増えている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、景気が良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・下期に購入するはずであった客が、上期に助成金で購入しており、売上が先食いされている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・壊れた設備の交換需要はあるため、あとは市場のシェアをどれだけ取れるかが重要になる。

<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・景気は新型コロナウイルスに振り回され、先行きの予測が立たない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者の増加状況からすると、しばらく在宅ワークや外出抑制も続く予測されるため、販売状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・約10日の周期で客足が激変し、全く読めない。高額車が売れないわけではないが、どこにお金が流れているのか、よく分からない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来していることから、経済活動の停滞のほか、公共交通機関の敬遠が進む。全体的には現状と変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店員）	・変わっていく要素がない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・年末に向けて、新型コロナウイルスの感染が広がる。ただし、経済の活性化は難しいものの、大きな景気の変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第であり、見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・春先までは新型コロナウイルスの感染収束は厳しそうである。消費者の不安が取り除かれられない限り、買物をする気分にはならない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（企画）	・Go Toキャンペーンのプラス効果はあるものの、感染第3波の影響で利用制限が続くことが予測される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・企業の年末年始の休みが長くなるといわれており、外食の機会が増えると期待したが、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者が増えそうで、楽観はできない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・Go Toキャンペーンによって上向きになると予測していたが、感染者数の増加により先行きがみえず、今後も不透明な状況が続くと予想している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・全て新型コロナウイルスの影響である。今後感染の第3波、第4波が来れば絶望的である。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊はGo To Travelキャンペーンの一時停止による影響は少なからずあるが、ビジネス街ということもあり、余り大きな変化はなさそうである。宴会は相変わらず、食事を伴う宴席は僅かであり、会議のみスペースを広くとって開催している。新年互例会も中止が相次ぎ、先行きがみえない状態である。一方、レストランはGo To Eatキャンペーンの利用のほか、一般客のランチ需要も高まっている。感染対策を進めることで、今後も集客は増えそうである。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況による消費者心理の変化のほか、国や自治体の政策などに左右される。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大している状況であり、先が読めない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス不況の終わりがみえない。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・7～8月と全国的に売上が伸びていたが、9月以降はやや落ちてきた感がある。引き続き、高い水準で現状維持ができるかどうかは、今後の新型コロナウイルスの感染状況に左右される。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・先行きは変わらないというよりも、分からないのが本音である。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・冬に向けての、新型コロナウイルスの更なる感染拡大が最大の懸念である。株価が実体経済以上に上がっており、ピークアウトの状況次第では、更に消費が冷え込む。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・11月でプロ野球が終了し、12月～2月はコンサートの開催が5日間予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では中止になる可能性がある。なお、3か月後の状況は不透明であり、現状と大きくは変わらないと考えている。
<input type="checkbox"/>	美容室（店員）	・美容に関しては、良い商品にお金を使う傾向が強まっている。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・本格的な冬を迎えて、新型コロナウイルスの感染がどのように拡大するかが予想できない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・飲食、宿泊関係は大きなダメージを受けると予想されるが、不動産の流通に関しては、賃貸、売買共に、大きな落ち込みや価格の下落は感じられない。ただし、宿泊関連用地は例外である。

□	住宅販売会社（従業員）	・不動産に関しては、ホテルや商業施設、オフィスは厳しい状況が続くものの、住宅や物流に資金が流入する傾向が、新型コロナウイルスの感染が収まるまでは続く。
□	その他住宅 [情報誌] (編集者)	・新型コロナウイルスによる影響からの、本格的な回復にはまだ時間が掛かるものの、着実に住宅に関する意識は全国的に高まっている。消費者の意識の変化に伴い、将来的に住宅の購入が増えることが期待される。
▲	一般小売店 [事務用品] (経営者)	・3月の年度末に向けて、多少の駆け込み需要はあるとしても、慎重にならざるを得ない。
▲	一般小売店 [時計] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染の報道が落ち着いたと感じたが、その後、急速に感染が広がってしまい、先行きが暗くなってきた。良くなる気配が感じられず、暗い時期が続く気がする。景気の改善について考えること自体が、むなしく感じる。
▲	一般小売店 [衣服] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が今のままであれば、外出を控える動きが長引き、年末年始の売上に大きな影響が出る。
▲	一般小売店 [鮮魚] (営業担当)	・年末の繁忙期が過ぎると、1～2月は大きく悪化し、宴会の商品受注もない。
▲	一般小売店 [菓子] (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響で、この先は時短営業などが必要となる。年末に向けて人の動きに活発さがなくなり、需要が低迷することが懸念される。
▲	百貨店 (売場主任)	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、予断を許さない状況である。
▲	百貨店 (企画担当)	・当地域でも今まで以上に新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、当社の重要な客である、高齢者の来店がますます減ることが予想される。
▲	百貨店 (企画担当)	・直近の新型コロナウイルスの感染状況は急激な拡大をみせている。大阪府からは一部の地域で営業時間の短縮や休業の要請が出された。今後しばらくは、8月頃のような外出自粛ムードが高まり、売上は減少傾向に転じると予想される。
▲	百貨店 (販促担当)	・気温の低下とともに感染者数が拡大するなか、真冬の感染状況が景気を大きく左右しそうである。気温は低めの推移であり、前年は暖冬で動かなかった重衣料を中心に、単価の高い防寒関連商材の動きに期待できる。ただし、感染が拡大して何らかの自粛要請が出れば、都心での人出や購買心理に大きな影響があるため、全く楽観できない状況である。
▲	百貨店 (外商担当)	・新型コロナウイルスの感染再拡大による規制強化や、消費マインドの低下により、自粛ムードの強化が予想される。
▲	百貨店 (売場マネージャー)	・現状の売上や来客数から判断すると、これからも景気が悪くなりそうである。給与やボーナスの減少、飲食店関係の休業などの加速が主な要因である。新型コロナウイルスの感染は20年1月頃から始まったが、今後も感染が増加する可能性がある。
▲	スーパー (店長)	・株価は、米国の新政権への移行に対する不安の払拭や、新型コロナウイルスのワクチン開発といったプラス要素で上昇傾向にあるが、個人消費は冬のボーナス削減や企業業績の悪化に伴うリストラなど、不安材料が多く、冷え込む可能性が高い。
▲	スーパー (店長)	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、専門店を中心とした落ち込みが考えられる。
▲	スーパー (販売促進担当)	・株価は落ちていないが、所得が落ち込んでいる人が増えている状況から、今後は景況感が上向くとは考えにくい。一気に落ち込むことは予想していないが、緩やかな減退傾向となりそうである。
▲	スーパー (社員)	・新型コロナウイルスの影響が長引くなか、今後はかなりの数の会社で業績が悪化し、ボーナスの減少や雇用の調整が進むと予想される。現状は堅調な食品への支出も、所得の減少による影響を次第に受けて、減少に転じることを懸念している。
▲	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルスの感染が広がっている間は、Go To キャンペーンも中止となるため、販売が落ちる。
▲	コンビニ (経営者)	・Go To Eat キャンペーンの新規予約終了や新型コロナウイルスの感染拡大など、消費者へのプラス要素がない。雇用情勢の悪化や、中小企業の売上減少といった不安材料も解消できない。

▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えて、テレワークの増加などで、世間が再び自粛ムードになりそうである。
▲	コンビニ（店員）	・上向いていくよりも、悪くなっていくような気がする。客とのやり取りでも、余り前向きな話が聞けないのが現実で、支払のついでに買物して帰る人も、以前に比べて少なくなったように感じる。
▲	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染者が増えて、大阪の飲食店などに営業時間の短縮要請が出たり、外出も控えるようになるため、企業の活動にも影響が出る。
▲	乗用車販売店（経営者）	・企業業績の悪化に伴う、個人所得の減少による影響が顕在化する。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染の第3波が深刻化しているため、今後は悪くなることが予想される。
▲	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・11月中旬以降、新型コロナウイルスの感染者数が1日ごとに増加している。更なる感染防止のため、飲食店の営業時間短縮のほか、各行事も自粛傾向にある。実施する場合も、少人数で短時間となるため、消費は落ち込む。
▲	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が、米国や欧州のように強く出ることが心配である。米国大統領が代わり、日本に対してマイナスの影響が出るかもしれないため、少し悪くなると予想している。
▲	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・今年はボーナス商戦に期待できないため、ぜいたく品の売上は厳しくなる。一方、生活必需品に関しては売上が伸びると予想される。
▲	観光型ホテル（経営者）	・11月20日頃からは新規の予約も激減しているため、今後は今までのようにGo To Travelキャンペーンの利用客がどんどん来ることはなくなる。
▲	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、キャンセルが出始めている。
▲	観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染が近接県で拡大傾向にあるため、観光客の動きが鈍化すると予想される。
▲	都市型ホテル（総務担当）	・大阪市がGo To Travelキャンペーンの対象地域から除外されたほか、大阪府から5名以上の宴会自粛や営業時間の短縮要請が出たことで、宿泊と宴会、レストランの全てにわたってキャンセルが発生している。今後は感染が一定程度収束しなければ、客は戻ってこないと考えられる。
▲	都市型ホテル（販売促進担当）	・Go To Travelキャンペーンの対象地域から大阪市が除外されたことで、12月半ばまでは回復が見込めず、その後も除外が延長されれば、景気は良くならない。現時点での客室の状況は新規予約がほぼなく、キャンセルの方が多いため、仮に延長されなくても、良くなる見込みがないように感じる。
▲	旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が寒さの影響で増えるのであれば、これから冬に向かっていく中で、先行きは暗い。ワクチンや治療薬ができない限りは、この状況が続くため、先行きは悪くなると予想される。
▲	タクシー運転手	・少し人が動き出した途端に、Go Toキャンペーンが止まったため、それに伴って神戸の人出も少なくなりそうである。
▲	タクシー運転手	・Go Toキャンペーンなどの施策による客の乗車機会の増加に期待したが、増収には結び付いていない。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染抑制のためのブレーキを強く踏まなければならないため、年末に向けて悪くなる。ワクチンの普及により、経済政策のアクセルが踏めることを期待している。
▲	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波による低迷が懸念される。
▲	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の原因は人の移動ではなく、食事の方に大きな原因があることを、何となく肌感覚で感じる。消費拡大のため、Go Toキャンペーンを実施していることが、一部でその拡大につながっていることも間違いなさそうで、何をやっても八方ふさがりの状況になりつつある。

▲	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加と比例して、早々と消費者の出控えがみられる。これから冬に向かう中で感染拡大の懸念は拭えず、厳しい見通しを想定している。各種のGo Toキャンペーンは感染が落ち着いた状況では効果があるため、まずは国を挙げて感染予防に努めるべきで、当社も感染予防と事業継続の両立に全力で取り組む予定である。
▲	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、ブレーキが掛かることは避けられない。
▲	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージでは服を脱ぐため、暑い時期よりも寒い時期の方が来客数は減少する。
▲	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波により、買い控えにつながらないかを注視している。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、景気が後退すると予想される。
▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・大阪府は全国でも新型コロナウイルスの感染者数が最も増加しているため、今後はステイホームの動きが加速すると予想される。
▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・冬のボーナスは例年どおりの支給が難しい。本格的な冬を迎え、新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのかも非常に不透明である。今年はマスクや消毒液、オフィスのパーティションなど、感染対策による経費がかなり増えている。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの感染者は増えていくと予想される。政府の方針は、感染予防と同時に経済の回復を狙うというものであるが、今の状態を考えると、まずは感染予防の必要性を感じる。そうなれば経済は止まってしまうものの、それでも医療の崩壊を考えれば、感染予防に力を入れるべきである。
×	一般小売店〔花〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
×	百貨店（売場主任）	・もはや新型コロナウイルスの感染状況次第の部分があり、景気の前予想は極めて難しい。はっきりとした治療法やワクチンの開発など、感染の克服に向けた方向性が出ることを期待している。
×	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来し、これにインフルエンザの感染が加われば、更に来客数の落ち込みが予想され、売上はより厳しくなる。
×	百貨店（宣伝担当）	・大阪の繁華街の飲食店に対する営業時間の短縮要請で、人出が今以上に減ることが予想される。取引先も販促費や人件費を抑えているため、年末商戦も期待できず、更に厳しくなると予想している。
×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波が拡大中で、Go Toキャンペーンの見直しもあるため、景気は停滞すると予想される。
×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大のため、今後は高齢者中心に外出を控える人が増えそうである。また、緊急事態宣言が出される可能性も高まっている。
×	スーパー（店員）	・新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者数が増え続け、外出が控えられることで、売上も落ちる。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、全く先が読めない。
×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染は更に勢いを増しており、周囲の飲食店も閉店し始めている。景気の悪化が、そのまま来客数や客単価に影響してくると予想される。
×	コンビニ（店員）	・外出などを自粛する人が多くなると予想される。
×	衣料品専門店（経営者）	・感染の防止によって売上が減少して倒産するか、新型コロナウイルスに感染するかという2つの選択になれば、感染してでも経済を回した方が良く感じる。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの治療法が確立しない限り、売上の回復が見込めない。また、ワクチンの接種が始まらない限り、景気の回復は難しい。
×	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が今年の春先よりも拡大しているため、景気が悪くなるのは明らかである。売上の中心である高額商品は、対面式の商談がどうしても必要になるため、売上の落ち込みは長期化が避けられない。
×	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波といわれるなか、来客数も売上も伸びる要素が見当たらない。

	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・4月以降、客の買い方が急激に変わるなか、いまだに商店街では従来の販売を行っている。Web販売や宅配、キャッシュレス払いなどの活用が進んでいない。
	×	一般レストラン（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は続き、特に飲食業界への悪影響はまだまだ続きそうである。ここまでくれば、本当の意味での体力勝負ではないかと感じる。
	×	一般レストラン（店員）	・寒くなれば、新型コロナウイルスの感染者数が増えてくるため、来客数は減少する。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・2か月前までは新型コロナウイルスの感染者が減少していたように感じ、来客数も徐々に戻りつつあったが、ここ2～3週間で急激に感染者が増加し、来客数が激減している。この先もしばらくは現在の状態が続く。ワクチンが開発されない限り、新型コロナウイルスとの共存といっても、元の生活に戻るのには難しい。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・今は何とか耐えているが、新型コロナウイルス感染拡大への対応がそれぞれの判断に任されている以上、今後はどちらに転ぶのか、明日のことも読めない。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響により、宿泊予約のキャンセルが発生し始めている。また、宴会についても前向きに動き始めていたが、ここへきて一気に逆戻りしている。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・Go To Travelキャンペーンの効果で需要が増えていたが、札幌市と大阪市が除外となり、キャンセルが増えている。これから我慢の3週間が始まるが、医療崩壊を防ぎ、感染の拡大防止が最優先となる。
	×	旅行代理店（役員）	・更なるキャンセルの増加や、団体客の予約延期、海外需要も壊滅状態にあるなど、好条件が見当たらない。
	×	観光名所（経理担当）	・現在は既に感染の第3波といわれ、一部の地域がGo To Travelキャンペーンの対象から除外されている。もともとコロナウイルスは感染が冬に広がるものが多く、新型コロナウイルスも例外ではないため、感染防止の動きが強化され、観光に出掛ける人が少なくなる。
	×	観光名所（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染の第3波により、大阪がGo To Travelキャンペーンの対象地域から外れることから、微増となっていた来場者数も再び減少する。
	×	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大への懸念がある。万が一、春先のように営業自粛になった場合の影響は、見当が付かない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン開発が見込まれているが、治療薬が開発されるまでは先行きが見えない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は販売量に大きく出ており、前年と比較しても30%ほど落ち込んでいる。新たな商品の販売を拡大中で、少しずつ効果が出ているほか、もう一種類の新商品を今年中にサンプル合格させ、来年には軌道に乗せたい。それに伴い、売上、利益共に増加する見通しとなる。
	◎	建設業（経営者）	・例年であれば、時期的には受注が増える。また、新型コロナウイルスの影響が長引くなか、取引先が積極的に仕事を取りに行っているという話を聞くため、今後は受注が少しずつ増えていく。
	○	金属製品製造業（開発担当）	・例年、年末は忙しくなるため、暇にはならない。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が増えており、大型案件の受注が見込めそうである。
	○	輸送用機械器具製造業（役員）	・自動車関連メーカーを始め、次年度の計画に向けた、新規設備の見積依頼が増えている。
	○	輸送業（商品管理担当）	・この時期はお歳暮やクリスマス、正月などで、2～3か月間は販売量が増える。今年も新型コロナウイルスの影響はあるものの、同じような動きとなる。
	○	通信業（管理担当）	・ボーナス商戦でやや活気付くと予想される。
	□	食料品製造業（従業員）	・外出の自粛ムードが高まってきており、外食関連は引き続きかなりの落ち込みが予想される。一方、家庭向けは逆に伸びる可能性がある。トータルではマイナスか現状維持かという、微妙なところである。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大は今後も続くため、景気はしばらく変わらない。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・先行きについては、新型コロナウイルスの感染状況次第である。

□	出版・印刷・同関連産業 (企画営業担当)	・今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響で受注量の改善はなさそうである。
□	化学工業 (管理担当)	・取引先の需要予測によると、10～11月と出荷量が回復してきた状態が続きそうである。
□	プラスチック製品製造業 (経営者)	・4月以降の先行きは読みにくいが、受注残があるため、3月までは現状維持で推移しそうである。
□	金属製品製造業 (経営者)	・全体的には5～8月に大きな落ち込みがあったものの、在庫調整的な面もある。今後は新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、年内はこの状態で推移しそうである。
□	一般機械器具製造業 (経営者)	・今後も大きく状況が改善する予兆はなく、しばらくはどん底の状況が続きそうである。
□	電気機械器具製造業 (経営者)	・10月まではやや良くなると感じていたが、11月に新型コロナウイルスの感染者が増え始めたため、その期待は消えた。何か特別な計画を立てないと、しばらくは抜け出せないと感じている。
□	輸送業 (営業担当)	・利益の少ない大手通販の荷物を他社に取られた影響で、売上はかなり落ちるが、利益は増えることになる。
□	金融業 [投資運用業] (代表)	・画期的なワクチン開発といった抜本的な解決法などがない限り、景気が良くなることはない。現時点では、先行きは暗いと感じられず、悔しい限りである。
□	新聞販売店 [広告] (店主)	・現状では上向き要素がない。
□	広告代理店 (管理担当)	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
□	広告代理店 (営業担当)	・今年になって、紙媒体、Web媒体共に、広告売上が前年を下回る状態が続いている。
□	広告代理店 (営業担当)	・冬の間は、今のような広告出稿の状況が続きそうである。
□	経営コンサルタント	・街中の人出は増えても、売上の増加には結び付いていない。新型コロナウイルスで止まっていた新規出店や新規事業を何とか再開させる動きは出てきたが、感染の第3波で先行きが見えない。当然ながら、経営者はこの状態が続くと考えており、いつまで持ち堪えられるかで悩んでいる。
□	その他サービス [自動車修理] (経営者)	・また新型コロナウイルス対策で動きが悪くなりそうである。
□	その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見通せないまま、トンネルに入ったような状況が続いている。
□	その他非製造業 [商社] (営業担当)	・現在は新型コロナウイルスの感染第3波が到来しており、その影響がどこまで出るのか不透明なため、予測が難しい。
▲	繊維工業 (総務担当)	・大手取引先の在庫が減少しなければ、新規の受注は難しい。新型コロナウイルス問題が解消しなければ、景気は良くならないと判断している。
▲	繊維工業 (団体職員)	・新型コロナウイルスの影響で、先行きの状況が不透明である。
▲	化学工業 (企画担当)	・Go Toキャンペーンの影響のほか、夏季の食品需要低迷期が過ぎたこともあり、現在は需要が伸びているように感じるが、新型コロナウイルスの陽性者が急増し、年末年始の特需も縮小するため、需要は減少すると予想される。
▲	窯業・土石製品製造業 (管理担当)	・本来であれば、年末年始にかけて人の動きが活発になる時期であるが、Go Toキャンペーンの見直しなど、明るい材料に乏しい。ワクチンの開発が進んでいるため、安全性を見極めながらではあるものの、うまく接種が進めば、経済状況にも明るい兆しが出てくる。
▲	金属製品製造業 (営業担当)	・建築関係の仕事は、徐々に案件が少なくなっていると聞いており、今後は減少が予想される。
▲	一般機械器具製造業 (設計担当)	・新型コロナウイルスの感染状況は先行き不透明であるほか、本来は影響の少ないはずの業種まで、ボーナスや給与が減少し始めている。
▲	電気機械器具製造業 (宣伝担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化しており、消費にも影響が出てくると予想される。
▲	建設業 (経営者)	・これから本格的な冬を迎え、新型コロナウイルスの感染拡大が予想されるなか、住宅関連への投資意欲も低下することが懸念される。
▲	輸送業 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響により、配達を拒否する人も多いため、この状況が落ち着かなければ元には戻らない。



	▲	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス関連の支援策が今年で終わることから、まだまだ先行きが不安である。今月に入って感染が拡大しており、業況はかなり厳しい。
	▲	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響は、もう少し続くことが予想され、若干景気は悪くなると予想される。
	▲	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、今後2～3か月は大阪や東京発着のGo To Travelキャンペーンが中止になる可能性が高い。人の往来が少なくなれば、景気は悪くなる。
	▲	経営コンサルタント	・身の回りの小売業を中心にみると、持続化給付金やGo To キャンペーンなど、政府の刺激策によって若干上向いている。ただし、経済全体でみると厳しく、消費者の節約ムードが依然として強い。
	▲	司法書士	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いている。キャンペーンの停止などで済めばよいが、今後は寒さも加わるため、不安が続く。
	▲	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染第3波が拡大するなか、大規模な自粛要請などが考えられることから、経済へのダメージが懸念される。
	×	繊維工業（総務担当）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続きそうで、先行きは楽観視できない。
	×	化学工業（経営者）	・現在、新型コロナウイルスの感染第3波が来ていると報じられているが、前回の第2波の際も、発生から2週間～1か月後に受注が悪化し、1か月～2か月後に大きく売上が悪化したため、今回も同じような動きになると予想される。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの感染者が増えているため、影響が出てくるかもしれない。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たないほか、感染が拡大傾向にあるため、メーカーにとっても先のみえない状態が続いている。
	×	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・当面、地合いの回復は見込めない。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見込めず、今後の展望が開けない。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第というところはあるが、2～3か月後には冷静な対応が浸透してくることを期待している。
	○	人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、何ともいえないが、年度末に向けては上向いてくると予想される。
	□	職業安定所（職員）	・10月の新規求職者数は、前年度とほぼ同数となった。特に、9月の大型連休以降は高齢者の新規求職が増えているが、求人が少ないため、今後は有効求職者が増えると予想される。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年比での減少幅は、10月に比べて小さくなっている。ハローワークでの紹介件数の減少幅も縮小傾向にあり、求職活動の活発化が期待されるものの、新型コロナウイルスの感染第3波の影響による採用活動の停滞が懸念される。
	□	職業安定所（職員）	・今後のGo To Travelキャンペーンの実施次第で変わる。飲食店は少しずつ回復してきているが、新型コロナウイルス感染の第3波が来ているため、何ともいえない。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・IT関連だけではなく、様々な業種で企業の採用意欲が冷え込んでおり、この動きは年度末まで続きそうである。政府の補正予算で公共事業への予算がつけば、忙しくなってくることが予想され、採用意欲は少し上向きそうである。ただし、新型コロナウイルスの感染が落ち着かなければ先がみえず、今後も右肩下がりで沈んでいく。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、経済の動きが停滞している。企業の求人活動も様子見の状況で、良い人材がいれば採用するというスタンスである。
	▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・重症患者の病床数や軽症者用の隔離施設の数に余裕がないことをみても、政府の対応がこれまでと同じように後手に回っているように感じる。新型コロナウイルスの感染者数が減っていく見込みが立たない以上、景気も良くはなっていない。

▲	新聞社 [求人広告] (管理担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが増しており、一時的に景気は悪化に向かうと予想される。期間限定であるが、一部の地域がGo To Travelキャンペーンの対象から除外されたほか、飲食業に対する営業時間の短縮要請により、宿泊業や飲食業は再びダメージを受ける。米国大統領選挙の結果や、新型コロナウイルスのワクチン開発に見通しが立ったことを好感し、日米ともに株価は着実に上昇しているが、余りにも将来の景気を楽観的にみており、現在の景気を反映しているとは到底思えない。
▲	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスの感染第3波とみられる状況から、新規求人数は減少し、新規求職者数は増加している。
▲	民間職業紹介機関 (職員)	・新型コロナウイルスの感染の波が毎回大きくなっており、その都度、経済活動への影響が大きくなることが予想される。治療法を確立する道筋がみえなければ、求人数は厳しい状況が続くと予想される。
▲	民間職業紹介機関 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染の収束時期が読めない。
▲	民間職業紹介機関 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染者数の急増により、徐々に復活していた接客業の求人が減り、企業も人員の見直しを図ると予測される。
▲	民間職業紹介機関 (営業担当)	・2～3か月先は、ちょうど採用広報が解禁される直前となるため、企業の2022年の新卒採用計画がはっきりしてくると予想される。22年卒の学生のなかには、早くも民間企業を避けて公務員志望に転換する動きも出ており、不安感が大きいように感じる。
▲	学校 [大学] (就職担当)	・今後の政策次第であり、どちらに向かうかは判断が難しい。
×	学校 [大学] (就職担当)	・新型コロナウイルスの影響で業績不振の企業が増え、求人数が未定であったり、削減する企業が多いと聞く。今後もこういった企業は増える見込みである。